



2023 年度

医学部医学科 学生募集要項

東京慈恵会医科大学

今後の COVID-19 感染状況により記載した内容の変更、追加情報
などが生じる場合があります。
更新した情報は適宜ホームページ上でお知らせします。

目 次

1. 募集人員	1
2. 出願資格	1
3. 出願方法	1
4. 入学検定料	2
5. 出願書類	2
6. 受験票	3
7. 一次試験	3
8. 一次試験合格発表	4
9. 二次試験	5
10. 二次試験合格発表	5
11. 新型コロナウイルス感染症等への対応について	6
12. 災害等の不測の事態への対応について	6
13. 入学手続	6
14. 2年次以降各年度の納入金	7
15. 特待生制度	7
16. 奨学金制度・教育ローン	7
17. アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ ディプロマポリシー	8
18. 二次試験で求めるもの	10
19. 過去3年間の入学試験の結果	11
20. 試験会場の案内図	12

提出資料一式

1. 募集人員

105名

うち5名は地域への医療に貢献することを期待し、出身高校が属する各地域区分（東京、千葉、神奈川、埼玉以外）から1名を優先して合格とします。ただし、卒業後の進路を拘束するものではありません。本学は全国からの入学生を求めていますので、各地域区分からの多くの応募を期待しています。地域区分は下表の通りです。

A区分	北海道、青森、岩手、宮城、秋田、山形、福島
B区分	茨城、栃木、群馬、新潟、富山、石川、福井、山梨、長野
C区分	岐阜、静岡、愛知、三重、滋賀、京都、大阪、兵庫、奈良、和歌山
D区分	鳥取、島根、岡山、広島、山口、徳島、香川、愛媛、高知
E区分	福岡、佐賀、長崎、熊本、大分、宮崎、鹿児島、沖縄

2. 出願資格

次のいずれかの条件を満たす者

- 1) 高等学校又は中等教育学校を卒業した者および2023年3月卒業見込みの者
- 2) 特別支援学校の高等部又は高等専門学校の3年次を修了した者および2023年3月修了見込みの者
- 3) 通常の課程による12年の学校教育を修了した者および2023年3月修了見込みの者
- 4) 学校教育法施行規則第150条の規定により高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められる者および2023年3月31日までにこれに該当する見込みのある者
 - ①海外において、学校教育における12年の課程を修了した者および2023年3月31日までに修了見込みの者、またはこれらに準ずる者で文部科学大臣の指定した者
 - ②文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有するものとして認定した在外教育施設の当該課程を修了した者および2023年3月31日までに修了見込みの者
 - ③専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者及び2023年3月31日までに修了見込みの者
 - ④文部科学大臣が指定した者
 - ⑤高等学校卒業程度認定試験に合格した者および2023年3月31日までに合格見込みの者で、2023年3月31日までに18歳に達する者（大学入学資格検定に合格した者を含む。）
 - ⑥その他本学が高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると認めた者で、2023年3月31日までに18歳に達する者

※出願資格についてご不明な受験生は、2022年12月10日（土）までに入試事務室にお問い合わせ下さい。

※受験事前相談について

受験及び修学上の合理的配慮を必要とする受験生あるいは基礎疾患を有する受験生は事前相談をお受けします。必要な方は出願に先立ち2022年12月10日（土）までに入試事務室にお問い合わせ下さい。

3. 出願方法

- 1) 出願期間は2023年1月4日（水）～2023年1月25日（水）です（締切日消印有効）。
- 2) 出願は郵送に限ります。いかなる理由でも締切後は受理しません。
- 3) 出願書類は同封の封筒を用いて、志願者の氏名、住所、郵便番号、電話番号を明記し、書留（速達書留も可）で郵送して下さい。
- 4) 提出された出願書類は、いかなる場合であっても返却いたしません。
- 5) 出願書類、入学検定料の振込の両方が出願期間内に行なわれた場合に、出願が完了します。
- 6) 海外の高校を卒業している場合は、小学校からの略歴をご記載ください。
- 7) 出願書類の記載や提出した資料に虚偽の事実が含まれていることが発覚した場合には、受験資格および合格を取り消すことがあります。入学検定料も返還しません。

4. 入学検定料

- 1) 入学検定料は60,000円です。
- 2) 入学検定料の振込方法
ATM、インターネットバンキングから下記のいずれかの指定銀行口座に**志願者名**でお振込みください
(手数料はご負担いただきます)。

振込先銀行：①三菱UFJ銀行 虎ノ門支店 普通 2015682

②三井住友銀行 日比谷支店 普通 2907726

口座名：受験料口座 学校法人 慈恵大学

- 3) 入学検定料振込の証明
振込した際のご利用明細に志願者氏名を記入し、出願書類と一緒に郵送してください。(ご自身でコピーをとるなどして控えを手元においてください)
- 4) 振込期間は、2022年12月6日(火)～2023年1月25日(水)です。
- 5) 振り込まれた入学検定料は、いかなる場合であっても返却いたしませんので、注意してください。

5. 出願書類

次の書類を所定の封筒(〒105-8461 東京都港区西新橋3-25-8 東京慈恵会医科大学入試事務室行)の印刷のあるもの)を用いて書留(速達書留も可)で郵送して下さい。

出願書類	提出上の注意事項
入学願書	①必要事項を黒のボールペンで自筆で明瞭に記入して下さい。 ②入学願書の記入方法をよく読み、誤りのないようにして下さい。 ③写真を所定の位置に貼付して下さい。 貼付する写真は縦4cm×横3cm、鮮明なカラー写真。2022年10月1日以降に撮影した無帽、無背景、上半身正面向の写真を使用して下さい。受験時に眼鏡をかける場合は、眼鏡をかけた写真を使用して下さい。
調査書	<2022年10月1日以降に発行されたもの> ①高等学校もしくは中等教育学校の卒業生および卒業見込者は、出身学校長が証明した「調査書」(厳封されたもの)を提出して下さい。卒業見込者の「調査書」対象期間は高校3年生12月分(二学期制の場合は3年前期分)までの記載があること。なお、廃校・被災および保存期間の経過などの理由で、調査書が発行されない場合は、卒業証明書に加えて、成績証明書又は単位取得証明書を提出して下さい。成績証明書および単位取得証明書のどちらも発行されない場合は、出身学校長からの「発行できない旨の文書」を提出して下さい。 ②高等学校卒業程度認定試験(大学入学資格検定を含む)合格者は、「合格証明書」と「合格成績証明書」を提出して下さい。また、高等学校で修得した科目がある場合は、高等学校の「単位取得証明書」も提出して下さい。 ③海外と日本の高等学校に在学していた場合は、「海外での在学全期間の成績証明書」と「日本の高等学校の調査書」を提出して下さい。 ④海外の高等学校を卒業した者は「卒業証明書(卒業証書の写)」と「成績証明書」を提出して下さい。 ⑤文部科学大臣の指定を受けた専修学校高等課程の学科を2023年3月31日までに修了する者は、「成績証明書」を提出して下さい。
入学検定料振込受付証明書	4.3)を参照。振込したことがわかる明細書
在学証明書、卒業証明書(該当者のみ)	大学に在学中、あるいは卒業した者は提出して下さい。(大学院に在学中、卒業した者も同様)
任意提出書類	提出書類の条件
英語資格・検定試験結果の証明書	対象となる資格・検定試験 ケンブリッジ英語検定、英検、GTEC、IELTS、TEAP、TOEFL iBT、TOEIC 証明書の条件 一次試験受験日の2年前(2021年2月)以降に受験した試験結果の証明書のコピー ※4技能のスコア記載があるもの、合格したものに限り。
※英語資格・検定試験の結果の提出は任意です。提出しないことで試験が不利になることはありません。調査書と併せて二次試験の参考になります。	

6. 受験票

- 1) 受験票は、入学願書に記入された現住所へ郵送されます。
- 2) 受験票は、本学宛に出願書類を郵送後、概ね1週間以内に志願者宛に届きますので、1週間経過しても受験票が届かない場合は、入試事務室（電話03-3433-1111 内線2153、2154）に連絡して下さい。
- 3) 受験票は入学試験の受験時に必ず持参して下さい。
- 4) 氏名（漢字）は、コンピュータ処理のため標準文字（JIS第1・第2水準漢字）を使用するので、置き換えられる場合があります。（例：吉→吉など）

7. 一次試験

- 1) 試験は2023年2月9日（木）に実施します。
- 2) 試験の教科・科目、試験時間、配点は次の通りです。

教科	科目	試験時間	配点
理科	「物理基礎・物理」、 「化学基礎・化学」、 「生物基礎・生物」 これら3科目のうちから2つを選択	午前10時～12時	200点
数学	数学Ⅰ・数学Ⅱ・数学Ⅲ・数学A・数学B ただし、数学Bは「数列」、「ベクトル」を出題範囲とします。	午後1時30分～3時	100点
英語	コミュニケーション英語Ⅰ 英語表現Ⅰ コミュニケーション英語Ⅱ 英語表現Ⅱ コミュニケーション英語Ⅲ	午後3時45分～4時45分	100点

※全科目とも記述式による解答方法を用いた試験です。

- 3) 一次試験は次の2つの会場で行います。

五反田TOCビル本館：東京都品川区西五反田7丁目22番17号 電話03-3494-2002

東京プリンスホテル：東京都港区芝公園3丁目3番1号 電話03-3433-1111（大学電話代表）

（12ページの案内図を参照して下さい。）

詐欺まがいの行為に注意

一次試験会場付近の駅周辺において、本学職員を装うなどして、受験者に『学生会から連絡する』など言葉巧みに近寄り、受験番号・氏名・住所・電話番号などを記入させ、現金を要求する行為が発生しています。

試験当日、本学職員が以上の詐欺まがいの行為をすることは一切ありませんので、注意して下さい。

なお、不審者を見たり、声をかけられたりしたら、本学職員（「慈恵医大」の腕章着用）まで連絡してください。

- 4) 一次試験合格者の判定にあたっては、3教科の試験の総合点で決定します。

注意事項

- 1) 試験前日までの注意事項

①試験場（会場階）の下見はできません。

- 2) 試験当日の注意事項

①午前9時20分までに試験場に入室し着席して下さい。（午前8時から入室が可能です。時間に余裕を持って到着してください。）

②遅刻した場合は、試験開始後20分以内に限り受験を認めます。

③試験中は試験監督者の指示に従ってください。試験監督者の指示に従わない場合、試験会場からの退出を求めることがあります。

④携帯電話やウェアラブル端末等の通信機能を持つ電子機器類は、試験開始前に電源を切ってかばん等にしまってください。試験時間中に使用できないもの又は身につけることができないものを試験時間中に使用または携帯を発見した場合は不正行為とみなし、受験資格を剥奪します。

- ⑤受験票は常に携行してください。受験票を所持しない者は試験場に入室することはできません。
 - ⑥試験時間中に机の上に置けるものは、「受験票」、「筆記用具（黒鉛筆、シャープペンシル（替芯ケースは不可））、消しゴム、鉛筆削り（電動式、大型のもの、ナイフは除く）」、「時計（時計機能のみで音を発しないもの、通信機能など時計以外の機能を有するものは認めません）」、「眼鏡」、「ティッシュペーパー（中身だけ取り出したもの）」です。これ以外の所持品について机の上に置くことを希望する場合、試験監督者に許可された場合のみ置くことを認めます。試験会場に時計はありませんので各自で持参してください。
 - ⑦下敷き、電卓、定規、コンパス等の補助具は使用できません。
 - ⑧耳栓の使用は認めません。
 - ⑨英文字等がプリントされている衣類は着用しないでください。
 - ⑩解答用紙には受験番号、氏名を正しく記入して下さい。受験番号や氏名を未記入もしくは間違えた場合はその科目の得点は総合点から除外します。
 - ⑪試験中に発病やお手洗い等必要な場合には、手を挙げて試験監督者の指示に従って下さい。身体の具合が悪くなった場合は、救護室での休憩は認めますが、その分の試験時間の延長はできません。また、医師の判断で別室受験を指示することがありますが、診察や移動にかかった時間分の延長は認めません。
 - ⑫換気のために窓を開放する時間がありますので、暖かい服装を持参してください。ただし、帽子、サングラスの着用は認めません。
 - ⑬試験開始後30分間および試験終了前5分間は試験場から退出できません。
 - ⑭それぞれの試験開始の10分前までに着席して下さい。
 - ⑮昼食は持参してください。
- 3) 不正行為について
- 以下の行為は、不正行為として扱われる可能性があります。

- ①志願者以外の者が志願者本人になりすまして試験を受けること
- ②試験時間中に外部と通信を行うこと
- ③試験時間中にカンニングペーパーや他の答案を見ること
- ④試験時間中に答えを教える等の他の受験者に利する行為をすること
- ⑤試験会場内において、試験監督者や係員の指示に従わないこと
- ⑥試験会場内において、他の受験者の迷惑となる行為をすること
- ⑦試験時間中に携帯電話やウェアラブル端末等を身につけていること
- ⑧試験時間中に使用を認められていない用具を用いていること
- ⑨試験開始前に問題冊子を開いて解答を始めること
- ⑩試験終了の指示の後に、筆記用具や消しゴムを持ち続けていたり、解答を続けていたりすること

試験中に不正行為の疑いが見出された場合、試験監督者が注意し、試験の中止、退出を命ずることがあります。事情を聴取など、不正行為の疑いに対処した時間の延長はできません。不正行為と認められた場合、当該年度の入学試験の全てを無効とします。入学検定料は返還しません。

入試過去問題活用宣言について

一次試験問題の出題にあたっては、「入試過去問題活用宣言」に参加している大学の入試過去問題を使用または一部改変して出題することもあります。但し、必ず使用するとは限りません。

8. 一次試験合格発表

- 1) 一次試験合格発表は2023年2月16日（木）午後3時に次の方法で行います。
 - ①本学西新橋キャンパス・大学1号館1階ロビーに掲示（13ページの案内図を参照して下さい。）
 - ②本学ホームページに掲載（<http://www.jikei.ac.jp/>）
- 2) 合格発表の問い合わせには一切応じられませんので、各自で確認して下さい。

9. 二次試験

一次試験合格者に対して下記のように実施します。

- 1) 試験は**2023年2月19日(日)、20日(月)、21日(火)の3日間**のうち、いずれか1日に実施します。二次試験日程3日間のうち、どうしても都合のつかない日を1日のみ考慮します。都合のつかない日を入学願書の所定の欄に記入してください。(2日以上記入した場合、二次試験は受験できなくなります。)3日間どの日でも可能な場合はチェックを入れないでください。
- 2) 二次試験は**面接と小論文**です。集合日時および集合場所は、一次試験合格発表時に指定します。
- 3) 携帯電話等の通信機能を持つ電子機器類は、係の者からの指示がある場合以外、集合から二次試験終了時まで使用できません。
- 4) 二次試験の時間配分

集合・説明	移動	面接	休憩	小論文
30分	10分	60分	15分	90分

※移動、休憩時間については、多少の変更が生じる場合があります。

- ①集合時刻の30分前より受付を開始します。
 - ②集合・説明開始後20分以上の遅刻は原則として受験を認めません。
 - ③面接と小論文の間に約15分の休憩があります。この休憩時間を利用して飲料を摂ることができます。ただし、食事はできません。
- 5) 二次試験は**本学西新橋キャンパス・大学1号館**で行います(13ページの案内図を参照して下さい)。
 - 6) 二次試験合格者の判定にあたっては、面接Multiple Mini Interview (MMI)、小論文、調査書等評価の点数を一次試験の点数に加算し、総合点で決定します。面接(MMI)は、6名の評価者がそれぞれ5段階評価します。配点は30点です。小論文は、複数名の評価者が5段階評価します。配点は25点です。調査書等評価は、本学のアドミッションポリシーに照らし合わせて、合議により3段階評価します。配点は25点です。ただし、面接評価または小論文評価が一定の水準以下の受験生については、個別に検討し、本学の理念およびアドミッションポリシーに適合しないと判断された場合、総合点に関わらず二次試験で不合格とします。上記の判定は、入試判定会議で検討し、医学科教授会議での審議を経て確定します。

二次試験配点		
80点	30点	面接(MMI)
	25点	小論文
	25点	調査書等(※)評価

※調査書等：調査書、履修証明書などのこれまでの学業履歴がわかる参考書類

10. 二次試験合格発表

- 1) 二次試験合格発表は**2023年2月28日(火)午後3時**に次の方法で行います。
 - ①本学西新橋キャンパス・大学1号館1階ロビーに掲示(13ページの案内図を参照して下さい。)
 - ②本学ホームページに掲載(<http://www.jikei.ac.jp/>)
- 2) 補欠者は順位をつけて発表します。
- 3) 二次試験合格者には合格通知書および入学手続きの案内を速達書留で郵送します。なお、合格発表後に発送しますので、地域によって到着までに2、3日かかる場合があります。
- 4) 合格発表の問い合わせには一切応じられませんので、各自で確認して下さい。
- 5) 補欠の繰り上げ状況は、ホームページでお知らせします。電話での問い合わせには応じられません。

11. 新型コロナウイルス感染症等への対応について

- 1) 試験当日の朝、発熱・咳等の症状があるなど体調不良の場合には、試験会場には向かわずに、速やかに試験会場に連絡して（五反田TOCビル本館：電話03-3494-2002、東京プリンスホテル：03-3433-1111（大学電話代表））、指示に従ってください。
- 2) 試験会場内では、必ずマスク（鼻と口の両方を確実に覆うこと）を着用して下さい。マスク着用ができない場合は、あらかじめ申し出て下さい。
- 3) 昼食は持参して自席で食べるようにして下さい。
- 4) 新型コロナウイルス感染症等に罹患、あるいは新型コロナウイルス感染症濃厚接触者に該当するとされた受験生については、追試験を実施します。対象者は、試験日以前は入試事務室（電話03-3433-1111内線2153、2154）まで、一次試験日当日は各試験会場、二次試験日当日は西新橋キャンパス（電話代表03-3433-1111）にご連絡下さい。別途受験票のコピーと理由書（書式自由）の提出を求めます。入試委員会が理由書を審査し、追試験の可否を個別に通知します。詳細については、ホームページでお知らせします。
- 5) 新型コロナウイルス感染症対応に伴い受験生の情報を保健所等の公的機関に提供する場合がありますのでご了承下さい。

12. 災害等の不測の事態への対応について

大規模自然災害や人為災害等が発生した場合、試験開始時刻の繰り下げや試験の延期等の措置を講じます。

13. 入学手続

合格者は入学手続きの案内に従って、第1段階手続と第2段階手続の2段階の方法で入学手続きを行って下さい。定められた入学手続きを完了しないと、入学の資格を失いますので十分に注意して下さい。

- 1) 初年度納入金と手続書類の提出

区分	内容	金額	期限
第1段階手続	入学金	100万円	2023年3月7日（火）午後3時まで
第2段階手続	誓約書、保証書、写真2枚		2023年3月14日（火）午後3時まで
	授業料	250万円	

授業料は分納が可能です。その場合は入学手続き時に125万円を納入し、残額125万円を入学年度の10月末日までに納入して下さい。なお入学後、10月末日前に退学した場合であっても未納額は納入して下さい。

保証書には保護者の他に独立生計（別住所）を営む副保証人の捺印が必要です。

- 2) 入学後に別途、次の納付をお願いいたします。
 - ①学生会経費10万円（在学期間分）
 - ②東京慈恵会医科大学医学科保護者会費21万円（入会金および在学期間分の会費）
 - ③4年次に予定されている「臨床実習開始前の共用試験」の受験料（25,000円）
 - ④6年次に予定されている「臨床実習終了後の共用試験」の受験料（20,000円）
 - ⑤同窓会費6万円（卒業時に卒業後10年分）
- 3) 入学手続き後の入学辞退にともなう納入金の返還
2023年3月31日（金）午後3時までに入学辞退についての書類が到着した場合に限り、入学金100万円を除いた納入金を返還します。なお、この期限を過ぎて入学辞退を申し出ても納入金は返還いたしません。
- 4) 補欠者
補欠者は二次試験合格発表と同時に順位をつけて発表します。入学手続き者が募集人員に満たない場合には、補欠者の上位から順位に従って繰り上げ合格を実施します。繰り上げ合格となった補欠者は、速やかにご対応いただくようご協力をお願いします。なお、繰り上げ状況について、電話での問い合わせには応じられません。
- 5) 合格した者で、卒業見込みを延期された者は本学に入学することはできません。
- 6) 振り込まれた入学金は、「誤操作」「見間違い」等いかなる理由があっても返還いたしません。

14. 2年次以降各年度の納入金

学費名	金額
授業料	250万円
施設拡充費	130万円
計	380万円

学費は分納が可能です。その場合は4月末日および10月末日までに190万円ずつ納入して下さい。

15. 特待生制度

- ①入学者のうち入学試験の成績上位5名を特待生とし、初年度の授業料の全額を免除します。
- ②2年次からは前年度の成績上位5名を特待生とし、当該年度の授業料の半額を免除します。

16. 奨学金制度・教育ローン

- 1) 慈恵大学奨学生《10名程度》
 - ①学納金（授業料、入学金、施設拡充費）の全額または半額を貸与するもので、卒業後に返済の義務があります。対象は全学年です。無利子です。
 - ②学納金（授業料、入学金、施設拡充費）の修学支援新制度授業料減免額との差額を貸与するもので卒業後に返済の義務があります。対象は全学年です。無利子です。
- 2) 保護者会互助部会奨学金
 - ①学業の継続のために必要な額（50万円以上10万円単位）を貸与するもので、卒業後に返済の義務があります。対象は全学年です。無利子です。
 - ②学資に充当する50万円を毎年10名程度限度に給付します。なお、対象は全学年で給付は在学中1回です。
- 3) 本多友彦慈恵医学教育奨励基金
学資に充当する50万円を毎年10名程度限度に給付します。なお、対象は全学年で給付は在学中1回です。
- 4) 慈恵医師会海外選択実習奨学金
5・6年次に海外の医療機関で実習する学生、毎年10名程度に20万円以内の奨学金が支給されます。
- 5) 静岡県医学修学研修資金
原則1年生で、将来医師として静岡県内の公的医療機関等に勤務する意思のある者に、年間240万円を貸与します。一定期間勤務するなどの条件で返還が免除されます。
- 6) 千葉県医師修学資金
1～3年生で、将来医師として千葉県知事が定める医師不足地域等の医療機関に貸付期間の1.5倍に相当する期間、従事しようとする強い意志がある者に年間240万円を貸与します。一定期間勤務するなどの条件で返還が免除されます。
- 7) 公益財団法人ピジョン奨学財団奨学生
5年生で将来、新生児科、小児科（小児外科含む）または産科の医師を志す者に月額5万円を2年間支給します。
- 8) 教育ローン
学校法人慈恵大学提携教育ローンとして、保護者または学生本人が三菱UFJ銀行から、10万円以上1,000万円以内で借入ができるものです。
- 9) その他
日本学生支援機構などの奨学金へ応募できます。

17. アドミッションポリシー・カリキュラムポリシー・ディプロマポリシー

アドミッションポリシー（入学者受入の方針）

本学のカリキュラムを修得し、卒業時に求められる能力を達成できる学生として、日々の学修と多様な経験の中から以下の能力を入学時迄に身に付けている人を求めます。

- 1) 変化する社会、多様な文化や人々の中での医療ニーズを学び、社会における医師の職責について学修することができる。
- 2) 多様な個性・異文化の人々と交流ができる。
- 3) 汎用的技能としての数理的スキル、論理的思考力、問題解決能力を有する。
- 4) 自らの考えをまとめ、それを表現し、他者との対話を通じて協調的に新しい知識を創造できる。

入学試験では、数理的スキル、論理的思考力、問題解決能力については、理科・数学の筆記試験で、異文化理解および英語でのコミュニケーション能力の一部を英語の筆記試験で評価します。自己を表現し、他者を理解し、社会における自己の役割について考える能力を面接試験で、他者に対して自分の考え方を論理的に伝える能力を小論文で評価します。さらに、知識を基に状況を理解し、どのような行動が適切か判断する力を面接および小論文で評価します。

カリキュラムポリシー（教育課程編成・実施の方針）

医学知識や技能のみならず、自ら求め、自ら学び、社会の変化に応じて発生する様々な問題や異文化と接しながら自らの成長を促す能力を求めた6年一貫カリキュラムです。

- 1) 初年時は、総合教育で人間性や倫理観とともに、一人ひとりの人間の多様性を受け入れて理解することを学び始めます。それは高学年まで続く医学総論や学外実習でより実践的に修得され、さらに臨床実習での患者中心の医療の体験へと続きます。継続的に能力が伸びていることを、実習での態度、ポートフォリオやレポートで評価します。また初年時から少人数でのグループ討論、演習、実習を多く取り入れ、自律的な学修習慣を涵養します。
- 2) 人は誰しも病に罹る可能性があるとの考えから、低学年から様々な人に会う機会を提供します。早期臨床体験、福祉体験実習、重症心身障害児療育体験実習、地域子育て支援体験実習、在宅ケア実習、病院業務実習、高齢者医療体験実習と学年を経るごとにその経験知が積み上がっていくようにカリキュラムが組まれています。その成果としての道徳性発達はレポートや実習での立ち居振る舞いで評価され、適切なフィードバックによって学びの経験を高めるように工夫されています。国際社会とのつながりを持てるよう、英語教育は1年次から4年次まで縦断的にコースが組まれている他、希望者は海外での実習も可能です。科学的思考力や判断力は、1年次生命基礎科学、2年次基礎医学、3年次臨床基礎医学や研究室配属でその基盤を身につけた後、臨床現場で自分の学修課題を見出して解決する能力へと活かされます。
- 3) 医学・医療に必要なとされる科学の基本的知識は、臓器別統合カリキュラムによって縦断的・横断的に修得できるようにカリキュラムが構築されており、その成果は厳格に管理された総合試験で妥当性・信頼性を保って評価されます。知識に基づく問題解決能力は口頭試験で評価されます。
- 4) 本学のカリキュラムはコース・ユニット制で構成されており、基礎系臓器別統合カリキュラムと臨床系臓器別統合カリキュラムの2巡構造によって、基礎医学の知識を臨床医学と社会医学に活用できるように構築されています。1～2年次の医学統計学・情報リテラシー、3～4年次のEvidence-based clinical practiceと進み、臨床実習の場でEBM^{*1}を実践できるような能力を涵養しています。医学の基本的な知識はコンピュータを用いた共用試験医学系客観的能力試験（CBT）で評価され、基本的な臨床能力は共用試験医学系臨床実習前客観的臨床能力試験（OSCE）で評価されます。コミュニケーション能力は1年次のグループ演習や日本語表現法から始まり、臨床実習の場で活かせるように学年ごとに段階的にカリキュラムが組まれています。臨床実習でのポートフォリオ、最終的には共用試験医学系診療参加型臨床実習後客観的臨床能力試験（Post-CC OSCE）でその能力を担保します。

- 5) 医師としての適切な態度と行動を身につけるために、1年次から医学総論、学外実習で常に省察とフィードバックの機会を設けており、臨床実習まで継続的な成長を促すようなプログラムです。チーム医療は学外実習で1年次から体験できるようになっています。変化し続ける医療ニーズを体感するため、学外実習で1年次から種々な臨床現場体験を提供しています。また、診療参加型臨床実習では幅広い臨床体験が可能となるような実習病院を選択しています。臨床現場で医療ニーズを感じる力は、ポートフォリオで評価します。

※1 EBM (Evidence Based Medicine : 根拠に基づく医療)

ディプロマポリシー (卒業認定・学位授与の方針)

本学は、医学科達成指針に示す各到達目標を達成した学生に学士 (医学) の学位を授与します。

医学科達成指針

- 1) 医学を学び、また研究する際の基本的な考え方を身につけ、自律的に実践する
 - ・人間と社会に対する洞察力
 - ・他者の存在を受け入れてその考えを理解する力
 - ・人類文明がよって立つ自然科学への基本的理解力
 - ・自己主導型学修習慣と自己研鑽能力
- 2) 自己の人間性を高め、倫理的・科学的判断能力を磨く
 - ・豊かな人間性と人類愛
 - ・多様な立場の人々と良好に意思疎通する力
 - ・自分の考えを適切に表現して他者の理解を得ることができる力
 - ・社会人・国際人としての教養とマナー
 - ・国際人の視点と異なる文化を持つ人々と交流する力
 - ・道徳的思考力と倫理的判断力
 - ・探究する心と科学的判断力
- 3) 医学の基本的知識を修得する
 - ・基礎医学および医学に関連する科学の基本的知識
 - ・臨床医学および医療の基本的知識
 - ・国内外の公衆衛生を含む社会医学に関する基本的知識
- 4) 医学の基本的技能を修得する
 - ・医学知識を臨床実践に活用する力
 - ・科学的根拠に基づく臨床推論に裏付けられた診療を実践する力
 - ・基本的臨床能力としての診療手技
 - ・基本的な臨床コミュニケーション技能
- 5) 医師としての適切な態度と行動を身につける
 - ・医師としての使命と責任の自覚
 - ・患者中心の職業的倫理感
 - ・チーム医療に臨む主体性・協調性
 - ・医師としての適切な態度と行動
 - ・変化し続ける医療ニーズに対応するための生涯学修能力

18. 二次試験で求めるもの

面接について

MMI (multiple mini interview) で面接を行います。MMIとは複数の課題を用いた面接試験のことを言います。MMIでは、自分の考えを表現する能力、社会における自分の役割を考える能力、知識を基に状況を理解してどのような行動が適切なかの判断する能力、論理的思考力などについて評価するために、評価者と受験者が1対1で話し合いをする対話形式の面接をします。受験者はMMI 6課題で6名の評価者と会い、合計6つの面接を行います。1つの面接につき7分で、移動時間を含めて面接に要する時間は約60分です。段階評価を行います。面接試験のテクニックを問うものではありません。

東京慈恵会医科大学は、多様な医師を輩出したいと考えています。「自分」を大事にする人は、「他者」の価値を認める方だと考えています。

小論文について

面接後に小論文を書いていただきます。自分でしっかり物事を考え、その考えを他者に分かりやすく伝えようとする力、さらに、今自分が持っている知識を基に状況を理解して判断する力を評価します。課題文を読んで、そこから各自が自由に一つのテーマを選び、なぜそのテーマを選んだのかを説明し、その後テーマについて論じていただきます。読み手にわかりやすいように書いてください。課題文は随時変えていきます。小論文は、1,200字以上1,800字以内で、時間は90分とします。受験者には清書用(提出用)の用紙以外にも下書き用の用紙(回収します)もお渡しします。段階評価を行います。小論文の受験技法を問うものでも、国語の試験でもありません。

東京慈恵会医科大学は、世界でたった一人の「自分」が考えたことを「他者」に伝えようと努力する人を求めています。

19. 過去3年間の入学試験の結果

2022年度	受験者数			合格者数* ¹			入学者数		
	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	1,087	621	1,708	162	89	251	69	36	105
18歳	479	326	805	94	55	149	40	20	60
19歳	351	191	542	52	28	80	22	12	34
20歳	134	58	192	8	4	12	2	3	5
21歳以上	123	46	169	8	2	10	5	1	6

2021年度	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	908	570	1,478	142	96	238	66	44	110
18歳	379	311	690	71	74	145	31	31	62
19歳	290	162	452	58	18	76	27	12	39
20歳	135	63	198	11	3	14	6	1	7
21歳以上	104	34	138	2	1	3	2	0	2

2020年度	男性	女性	計	男性	女性	計	男性	女性	計
	1,251	549	1,800	226	95	321	71	39	110
18歳	486	288	774	125	56	181	36	20	56
19歳	431	175	606	79	35	114	22	16	38
20歳	184	49	233	16	2	18	8	1	9
21歳以上	150	37	187	6	2	8	5	2	7

※1 合格者数は、正規合格者＋繰上げ合格者の総数

個人情報の取り扱いについて

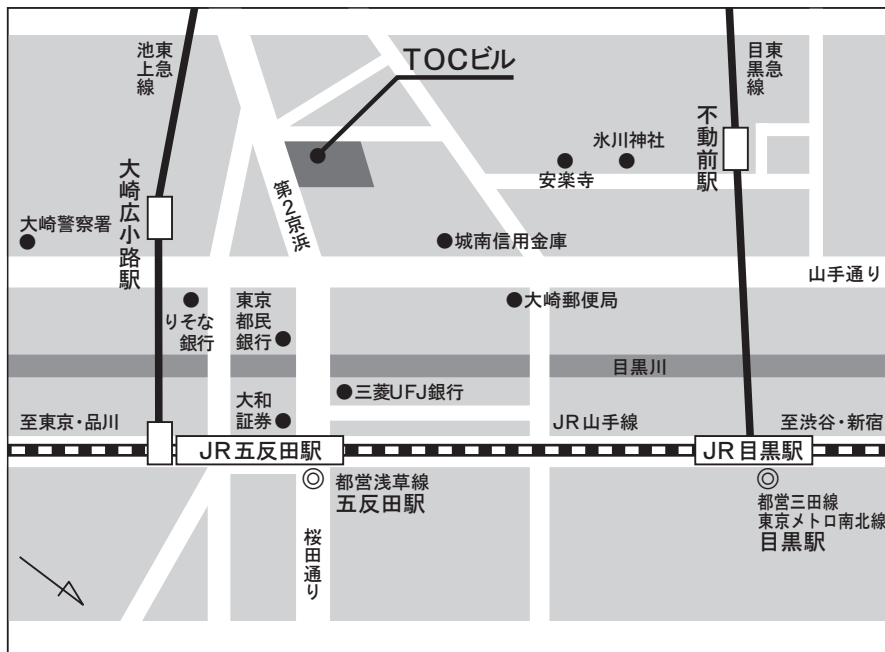
出願および入学にあたってお知らせいただいた氏名、住所などの個人情報は「学校法人慈恵大学個人情報保護に関する規程」に従って適正かつ安全に管理され、入学試験、合格発表、入学手続および入学後の学事上の管理や連絡のために利用します。

20. 試験会場の案内図

一次試験会場

五反田TOCビル本館

東京都品川区西五反田7丁目22番17号

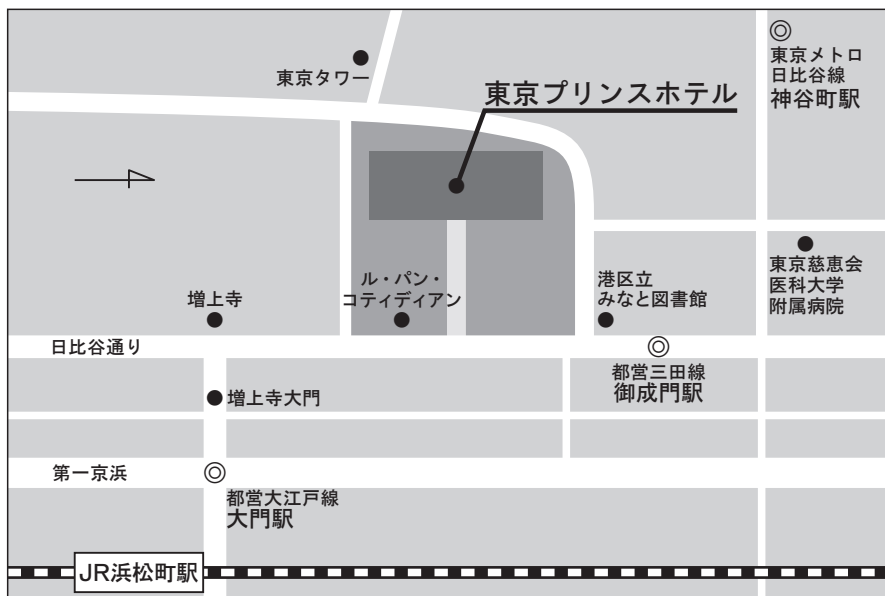


- ・ J R
山手線 五反田駅下車 (西口)
徒歩約 8 分
- ・ 私 鉄
東急目黒線 不動前駅下車
徒歩約 6 分
東急池上線 大崎広小路駅下車
徒歩約 5 分
- ・ 地下鉄
都営浅草線 五反田駅下車
(A 2 出口) 徒歩約 8 分

一次試験会場

東京プリンスホテル

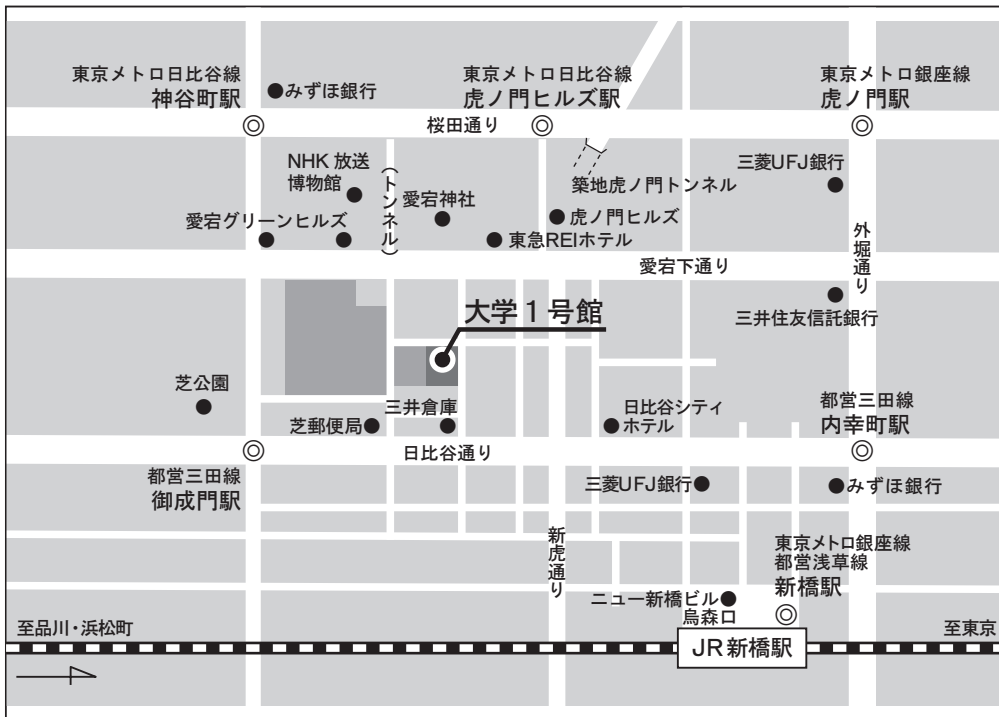
東京都港区芝公園3丁目3番1号



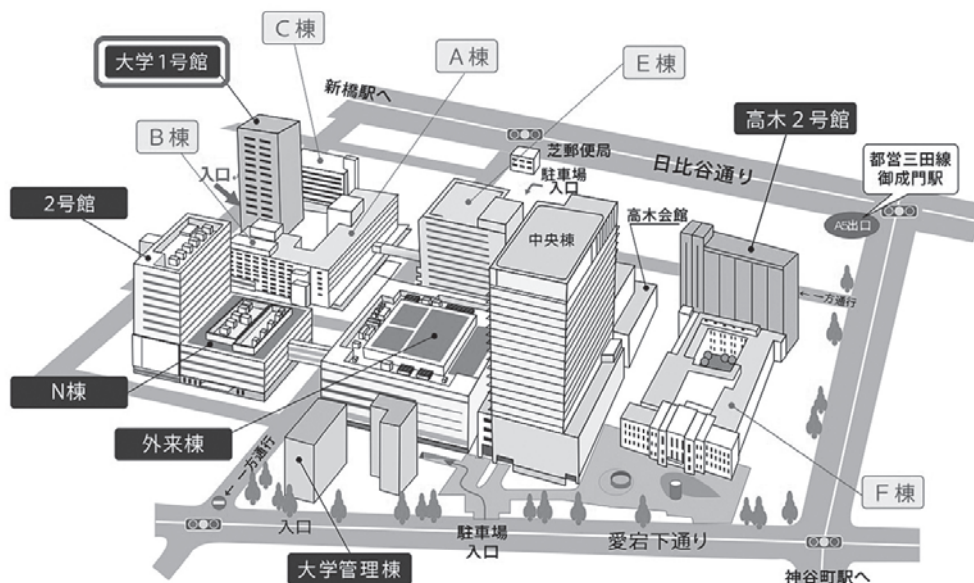
- ・ J R
山手線 浜松町駅下車 徒歩10分
- ・ 地下鉄
都営三田線 御成門駅下車
(A 1 出口) 徒歩 1 分
都営浅草線 大門駅下車
(A 6 出口) 徒歩 7 分
都営大江戸線 大門駅下車
(A 6 出口) 徒歩 7 分
東京メトロ日比谷線 神谷町駅下車
(3 番出口) 徒歩10分
- ・ 東京モノレール
浜松町駅下車 徒歩10分

二次試験会場

東京慈恵会医科大学
西新橋校 大学1号館
東京都港区西新橋3丁目25番8号



- ・ J R 新橋駅下車（烏森口）徒歩約12分
- ・ 地下鉄 都営三田線 御成門駅下車（A5出口）徒歩約3分
内幸町駅下車 徒歩約10分
都営浅草線 新橋駅下車 徒歩約12分
東京メトロ銀座線 新橋駅下車 徒歩約12分
虎ノ門駅下車 徒歩約10分
日比谷線 神谷町駅下車 徒歩約7分
虎ノ門ヒルズ駅下車 徒歩約9分



東京慈恵会医科大学
医学部医学科

問合せ先

〒105-8461 東京都港区西新橋3丁目25番8号

電話：03-3433-1111（入試事務室2153、2154）